

# 静岡県芝草研究所

2012年10月1日に農林技術研究所内に芝草研究所が設立されました。研究所では、主に小学校の校庭緑化に力を入れていきます。

校庭緑化推進の為に

①維持管理に関する不安の解消

②持続可能な管理手法の提案

を実施していきます。

## バミューダグラス・ポット苗の作り方

材料：

□5×5または4×4のセルポット（通常50cm間隔でポット苗を植えるので、施工面積1㎡に対して4セル必要）

□バミューダグラスの種（リビエラやユーコンなどの品種。種は、1㎡あたり10~15gを播種）バミューダグラスのソッド（芝生）をばらした茎でも良い。

□セルポットに入れる土（雑草の種など異物の混入がないものが望ましい）

作り方：

①セルポットにすりきりいっぱい土を入れる。

②セルポットの面積あたりに必要な種をあらかじめ計っておき、封筒などに小分けにしておく。今回、12個のセルポットを一塊として配置したので11gづつ封筒に。

③均等に種を蒔く。茎を使用する場合は、ひとつひとつのセルに植える。この時、土を押さえつけ、種や茎が土壌と密着する様にする。押さえつける事により、土壌が多少凹む。

④土壌表面が乾燥しない様に定期的に散水を実施。発芽するまでは、1日2回の散水が必要。

⑤ほぼ全ての種が発芽したら、2~3週間間隔で施肥を開始。リン酸を含んでいる肥料を使用し、1回の施肥で窒素量2.5~5g/m<sup>2</sup>を散布。これでポット苗は、完成！

●移植前に芝が伸びてくれば、刈払い機などで刈高1~2cmに刈り込む。定期的に刈り込む事で芝の密度が上がる。



4月11日（播種） 平米12gのリビエラを播種。播種後は、1日2回表面が乾かない様に散水。



5月7日（播種26日後） 播種後2週間で発芽したが、気温が低かった為に生長が遅かった。1日1回の散水に変更。



5月22日（播種41日後） 気温の上昇と共に生育スピードも上昇。植え付け可能な状態に。



6月4日（播種54日後） 刈払い機で刈り込みを実施。